

平成19年2月2日

保護者 各位

小牧市立小牧南小学校長

増田 実

インフルエンザの予防と治療について

余寒の候 皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは、本校の教育推進のため格別のご支援・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、暖冬とはいえ今年もインフルエンザの本格的な流行期に入り、2月1日には愛知県教育委員会よりインフルエンザ注意報が発令されました。市内では学級・学年閉鎖をした学校も出てきています。

本校でも、先週からインフルエンザや発熱による欠席が増加傾向にありますので、今後のインフルエンザの発生動向に注意し、下記の予防・治療を心がけて感染と重症化を防いでください。さらに、インフルエンザと並行して感染性胃腸炎等に対する注意や予防も必要です。

学校でも各学級に加湿器を設置するとともに教室の換気に注意し、うがい・手洗い等の指導をしているところですが、体調不良の場合には、無理に登校させないようご協力をお願いします。

記

1 インフルエンザの症状

2～3日の潜伏期間の後、急な発熱（38度以上になることが多い）に始まり、頭痛、全身倦怠、筋肉痛などの全身症状と咳、鼻水などの呼吸器症状、時には嘔吐、腹痛、下痢などの消化器症状を示します。

2 予防・治療について

- ・ 十分に睡眠、栄養をとる等、体調を整える。
- ・ 人込みを避け、帰宅時にはうがいと手洗いをする。
- ・ 感染を防ぐために、なるべくマスクをする。
- ・ 空気が乾燥するとインフルエンザにかかりやすくなるので、室内では加湿器等で適度な湿度を保つようにする。
- ・ かかったときは早めに医師の診察を受ける。発症から2日以内であれば、インフルエンザの増殖を抑える薬剤の治療を医療機関で受けることができる。
- ・ 安静に保つことにより肺炎などの合併症を防ぐ。
- ・ インフルエンザにかかったら（出席停止）、医師の指示に従って登校する。